

## コロナ感染第7波の恐れ？

文責 学校長



## ～佐賀県は直近一週間の感染者数（10万人当たり）で全国ワースト2位～

### 1 対面式を行いました。

先週の月曜日（11日）に新入生と在校生（2・3年生）の対面式を行いました。3密回避の観点から2年生は各教室でのリモート参加の形で実施しました。3年生との対面に新1年生は緊張した面持ちでしたが、先輩方との良き先輩・後輩の関係を築いてください。2・3年生は不安な1年生を優しく・温かく導いてください。



### 2 部活動紹介を行いました。～部活に入ろう！～

先週の水曜日（13日）の5・6時間目に新入生を対象に「部活動紹介」を行いました。各部の代表による紹介・パフォーマンスを行い、それぞれの部が新入生の加入を促すべく各部の活動内容や良さをアピールしました。新入生諸君、高校生活を充実させるためにお気に入りの部を見つけぜひ入部しましょう。



### 3 今週の名言・・・吉田松陰の言葉です。

**夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。**

【解説】幕末の思想家であり教育者でもあった吉田松陰の言葉です。夢・目標を持って前へ進むことの大切さを述べています。夢が叶わなくても、夢に向かって努力したことは無駄にならないというアドバイスも含まれています。夢を持ったとしたら、成功に繋げるまでに必要なプロセスを考えていくことが必要です。夢をもつことができれば、自然と次に必要なことはついていきます。いくつかのプロセスがありますが最終的な到達地点は行動に落とし込むことです。この必要性を解くために、松陰は細かく、その流れを説いています。逆から言えば「成功をおさめるためには計画が必要、計画をするためには理想が必要、理想を持つには夢が必要」とも読めます。まず夢や理想を持つことは充実した高校時代を過ごす上で欠かせませんね。



【吉田松陰について】長州藩士。明治維新の精神的指導者。人材育成の面で、優れた教育者でもある。幼少のころ、叔父の玉木文之進が開塾した松下村塾で、節としての教育を受ける。のち、江戸にでて佐久間象山に指事。「松下村塾」で明治維新に重要な働きをする多くの若者へ影響を与えた。（参考:「Wikipedia」より）

### 4 今週の話成語・・・「先んずれば則ち人を制す」【問題】「」を英語で表現すると？

**何事も人より先に事行えば、有利な立場に立つことができるということ。**

【由来】先手を取れば相手を抑えることができるから、何かをする時は人より先にやるのがいいということ。何事であっても、後手に回っては勝ち目がないという教え。「先んずる」とは、「先にする」を転じた言葉で、人よりも物事を先にするという意。『史記』項羽本紀に「先んずれば人を制す、後るれば則ち人の制する所と為る」とあるのに基づく言葉です。

### 5 入試によく出る漢字(その28)・・・センターテスト(2012年度追試験)に挑戦！

- (1) コウフンした声が侵入してきた。〔①不正行為にフンガイする。②火山がフンカする。③孤軍フントウする。④フンソウを解決する。⑤岩石をフンサイする。〕
- (2) 聴取状況の影響をコウムることを見逃していない。〔①モクヒ権を行使する。②心身がヒヘイする。③ヒレイのない才能を持つ。④裁判のヒコクになる。⑤ヒヤク的に発展する。〕
- (3) 爱国心のコウヨウに対してマス・コミュニケーションが果たしうる〔①カンヨウにふるまう。②国旗をケイヨウする。③キョウヨウを身につける。④心のドウヨウをおさえる。⑤文章の内容をヨウヤクする。〕
- (4) 三つが同型的なレンサをなしている。〔①道路をフウサする。②円高でサエキを得る。③犯罪のソウサに協力する。④議長をホサする。⑤経歴をサショウする。〕
- (5) 彼女と直接に対話をしているようなサクカクを得ることが、〔①サクイの跡が見える。②サクボウをめぐらす。③書物にサクインをつける。④時代サクゴの考えを持つ。⑤予算をサクゲンする。〕

## 6 今週の一冊・・・内田樹の『戦後民主主義に僕から一票』(SB新書)です。

戦後民主主義の価値観はどのように生まれ、どのような変遷をたどったのか？「戦後民主主義」の含意は、さまざまであるが、日本国憲法に示された主権在民、平和主義、基本的人権の尊重、また教育基本法が背景にあることには誰も異論がないだろう。占領下に生まれた戦後民主主義はこれからどこへ向かうのか？日本の国の根幹を支える「民意」の反映は、もう失われてしまったのか？道徳的「インテグリティ」が欠如する政治、日本社会が「株式会社化」する民主主義、沈黙の憲法制定過程問題、貧して鈍して劣化する教育。日本の未来を創るうえで最重要となる4大 이슈を取り上げ、日本を代表する論客が日本のイデオクラシーを批判するとともに、この国の未来を問う。(参考:本書裏表紙解説より)



【解説】著者・内田樹氏の文章は教科書や模擬試験、入試問題でも見かける作家の一人です。高校生が読んでおくべき作家の一人と言えるでしょう。その内田氏が、これまで著した雑誌・新聞掲載原稿、解説、講演を大幅に加筆修正し、書下ろしを加え、未来の日本がどのような変化を遂げていくべきか、日本の根幹を創る「民主主義」・「政治」・「憲法」・「教育」の4項目について論じる、内田イズムが詰まった1冊です。日本の国の根幹を支える「民意」の反映は、もう失われてしまったのか？道徳的「インテグリティ」が欠如する政治、日本社会が「株式会社化」する民主主義、沈黙の憲法制定過程問題、貧して鈍して劣化する教育、日本の未来を創るうえで最重要となる4大 이슈を取り上げ、日本を代表する論客が日本のイデオクラシー(愚者支配)を批判するとともに、この国の未来を問います。18歳の成人を迎える前には是非読んでほしい一冊です。

【作者・内田樹について】1950年、東京生れ。神戸女学院大学名誉教授。東京大学文学部仏文科卒業。東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程中退。専門はフランス現代思想、武道論、教育論、映画論など。『私家版・ユダヤ文化論』で小林秀雄賞、『日本辺境論』で新書大賞受賞、著作活動全般に対して伊丹十三賞受賞。

## 7 世界遺産を巡る・・・第53回はチェスキー・クルムロフ歴史地区(チェコ)(登録:1992年)

【解説】チェスキー・クルムロフ歴史地区はチェコの世界遺産で、首都ブラハ南方、ヴルタヴァ川沿いにある南ボヘミア州の小都市です。『眠れる森の美女』と呼ばれるぐらい美しく、赤やオレンジの屋根瓦が連なる町並みは中世の姿を色濃く残しています。また、「ボヘミアのシエナ」とも呼ばれます。これは、中世の街並みがあるまま残っているというだけでなく、イタリアの古都シエナがフィレンツェにライバル心を燃やしていたように、この町も近隣の町との競争の結果、栄えていったからです。クルムロフ城を含む優れた建築物と歴史的文化財で知られています。クルムロフは「川の湾曲部の湿地帯」を意味し、ドイツ語のKrumme Aueをその語源としています。チェスキーは、チェコ語で「ボヘミアの」という意味であり、これによりモラヴィアにあるモラヴスキー・クルムロフ(Moravský Krumlov)と区別されます。14世紀から16世紀の繁栄の証は、チェスキー・クルムロフ城に見ることが出来ます。中世、歴代の封建貴族たちは、この城を美しく改築することに財を惜しみませんでした。13世紀にゴシック様式で創建され、ブラハ城に次いでチェコ第二の規模を誇った城は、後にルネサンス様式に改築され、庭園にはバロック様式の「夏の離宮」が建てられました。貴族たちは宮殿で舞踏会を開き、庭園の野外劇場で演劇を楽しんだのでした。(参考:「世界遺産人気ランキング」より)



## 8 街角グルメを訪ねて・・・第53回は佐賀市の「超天井 虎之介」です。

2020年10月に佐賀高木瀬東にオープンされた「超天井 虎之介」。熊本に本店がある天ぷら定食のお店の支店です、開業当初より天井を超えた超天井なるメニューがあって、それが大人気で、ボリューム満点!海老、穴子、海苔、大葉、カボチャ、とろ玉半熟天と盛りだくさん。タレが足りなければ追加できます。現在、熊本3店舗、佐賀2店舗。この日は、「超天井」と「海老豚こぼろ天井」を注文。いずれも揚げたて熱々の天井でした。副菜として付いてくるキムチも美味でした、



## 9 保護者の皆様へ・・・家庭内クラスターが増えています。

コロナウイルス感染の第6波が収束しないままに第7波に突入したと言わざるを得ないほどの感染状況です。直近1週間の10万人当たりの感染者数では沖縄県に次いで佐賀県が全国ワースト2位の状況です。県内では高校部活動内クラスターの事例も増えています。また、家庭内での感染や濃厚接触者に該当したために出席停止となってしまう生徒も後を立ちません。厳しい学校運営が続いていますが、ご家庭でも引き続き感染防止策にご協力下さい。

【英語】◇ Take the initiative, and you will win. ◇ Forewarned is forearmed. He wins who gets the start.

◇ He who makes the first move [strikes the first blow, gets in first] has the advantage.

◇ First come, first served. (最初に来た者が最初に食物を供せられる)

◇ The foremost dog catches the hare. (先頭の犬が兎を捕らえる)

【正解】(1)興奮[憤慨・噴火・奮闘・紛争・粉碎](2)被[黙秘・疲弊・比類・被告・飛躍](3)高揚[寛容・掲揚・教養・動揺・要約](4)連鎖[封鎖・差益・捜査・補佐・詐称](5)錯覚[作為・策謀・索引・錯誤・削減]